

1. からだの部分の名などを使った四字熟語  
あっこうぞうごん

□ 悪口雑言 悪口雑言 悪口雑言

□ 異口同音 異口同音 異口同音

□ 一心同体 一心同体 一心同体

□ 傍(岡)目八目 傍目八目 傍目八目

□ 危機一髪 危機一髪 危機一髪

□ 自給自足 自給自足 自給自足

□ 弱肉強食 弱肉強食 弱肉強食

□ 首尾一貫 首尾一貫 首尾一貫

□ 絶体絶命 絶体絶命 絶体絶命

□ 二人三脚 二人三脚 二人三脚

いろいろと悪口を言うこと。口ぎたなくののしること。

弱い者を餌食にして、強いものが栄えること。

複数の人が心をついにし、一人のように行動すること。

当事者より第三者の方が物事をよく判断できること。

ごくわずかな差で危機におちいりそうな、非常に危険な状態。

のがれようのない追い詰められた状態や立場にあること。

大勢が、口をそろえて同じことを言うこと。

生活に必要なものを自分で生産し、満たすこと。

考え方や行いがはじめから終わりまで変わらないこと。

二人が協力して物事にあたることのたとえ。

はがんいっしやう

□破顔一笑 破顔一笑 破顔一笑

□平身低頭 平身低頭 平身低頭

□立身出世 立身出世 立身出世

2. 動物・植物などの名を使った四字熟語

□一石二鳥 一石二鳥 一石二鳥

かちやうふうげつ

□花鳥風月 花鳥風月 花鳥風月

がりやうてんせい

□画竜点睛 画竜点睛 画竜点睛

ぎやういんばしよく

□牛飲馬食 牛飲馬食 牛飲馬食

しやうまつせつ

□枝葉末節 枝葉末節 枝葉末節

なんせんほくば

□南船北馬 南船北馬 南船北馬

とうほんせいそう

□東奔西走 東奔西走 東奔西走

世の中に出て高い地位につき、有名になること。

表情を和らげ、につこり笑うこと。

ひれふして頭を下げること。ひたすら謝るときの様子。

物事の、主要でない細かな部分。

一つのことをして、二つの利益をえること。

自然の味わい深く美しい風景。また、それを鑑賞したり詩歌に

詠んだりする風流な遊び。

あちらこちらへとかけ回ること。

物事を完成させるために最後に加える大事な仕上げ。

牛馬のように大量に飲食すること。

絶えずあちこち旅をすること。

□馬耳東風ばじとうふう

馬耳東風

馬耳東風

□竜頭蛇尾りゅうとうだび

竜頭蛇尾

竜頭蛇尾

3. 道具・武器などの名を使った四字熟語

□一網打尽いっとうりようだん

一網打尽

一網打尽

□一刀両断いっとうりょうだん

一刀両断

一刀両断

□呉越同舟ごえつどうしゆう

呉越同舟

呉越同舟

□針小棒大しんしょうぼうだい

針小棒大

針小棒大

□大器晩成たいきばんせい

大器晩成

大器晩成

□单刀直入

单刀直入

单刀直入

□適材適所

適材適所

適材適所

はじめは勢いが盛んだが、終わりはふるわないこと。

( )

人の意見や忠告などを聞き流し、気にしないこと。

( )

小さなことを大げさに言うこと。

( )

一味の者を一度ですべてとらえること。

( )

すみやかであざやかに物事を処理する様子。

( )

仲の悪い者どうしが同じ場所にいたり、行動をともしたりすること。

( )

大人物は若い頃は目立たないが、年をとってから大成するといふこと。

( )

前置きをせず、ただちに本題に入ること。

( )

人の適性に応じて、それにあった仕事・地位につけること。

( )

4. 気象や季節・自然などを表す四字熟語

いちじつせんしゅう

□ 一日千秋 一日千秋 一日千秋

いっごくせんきん

□ 一刻千金 一刻千金 一刻千金

□ 海千山千 海千山千 海千山千

うんさんむしゅう

□ 雲散霧消 雲散霧消 雲散霧消

ごりむちゅう

□ 五里霧中 五里霧中 五里霧中

さんかんしおん

□ 三寒四温 三寒四温 三寒四温

せいこううどく

□ 晴耕雨読 晴耕雨読 晴耕雨読

5. 心や性格を表す四字熟語

□ 意気投合 意気投合 意気投合

いちいせんしん

□ 一意専心 一意専心 一意専心

いちげんこじ

□ 一言居士 一言居士 一言居士

少しの時間に高い値打ちがあること。楽しい時や大事な時間が

早く過ぎるのをおしむときに使う。( )

のんびりと気ままに暮らすことをいう。( )

世間でさまざまな経験を積み、ずるがしこく、したたかな様子。

物事があとかたもなく消えて無くなること。( )

一日が千年にも感じられるほど待ち遠しく思うこと。( )

見通しが立たず、どうしたらよいか判断がつかないこと。( )

心を一つのことだけに集中すること。( )

冬季に、三日ほど寒い日が続いたあと、四日ほど暖かい日が続き、

これを繰り返すこと。( )

どのようなことについてもひと言自分の意見を言わないと気がす

まない人。( )

おたがいの気持ちや考えがぴったりあうこと。( )

□ 公明正大	□ 公平無私	□ 喜怒哀樂	□ 疑心暗鬼	□ 我田引水	□ 右往左往	□ 一心不乱	□ 一騎当千	□ 一喜一憂	□ 一念發起
公明正大	公平無私	喜怒哀樂	疑心暗鬼	我田引水	右往左往	一心不乱	一騎当千	一喜一憂	一念發起
公明正大	公平無私	喜怒哀樂	疑心暗鬼	我田引水	右往左往	一心不乱	一騎当千	一喜一憂	一念發起

一人で千人の敵を相手にできるほど強いこと。

状況の変化によつて喜んだり心配したりすること。

考えを改めて、物事をなすとげようと決心すること。

一つのこと心に集中すること。

混乱してあつちへ行つたりこつちへ行つたりすること。あわててうろたえる様子を言う。

疑う気持ちがあると、何でもないことでもおそろしく思えたり、

疑わしく思えたりすること。

人間のいろいろな感情のこと。

かたよりがなく平等で、自分の利益を求めないこと。

自分の都合のよいように物事を運んだり話したりすること。

公平でやましいところがなく、正しいこと。

□ 自画自賛 自画自賛 自画自賛

□ 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦

□ 自業自得 自業自得 自業自得

□ 質実剛健 質実剛健 質実剛健

□ 自暴自棄 自暴自棄 自暴自棄

□ 十人十色 十人十色 十人十色

□ 心機一転 心機一転 心機一転

□ 誠心誠意 誠心誠意 誠心誠意

□ 前後不覚 前後不覚 前後不覚

□ 半信半疑 半信半疑 半信半疑

自分でした行いのむくいを自分で受けること。

自分で自分をほめること。

非常に苦勞すること。

かざり気がなく、まじめで強くたくましいこと。

あるきつけから、気持ちがちがらりと変わる事。

物事が思い通りにならず、やけになり、投げやりになること。

好みや考えは人によってさまざまであること。

真心をもって物事にあたること。

半分信じて半分疑う。信じきってよいかどうか、判断に迷う状態。

前後の区別もわからないほどに正体がなくなる事。

□品行方正 品行方正 品行方正

□付和雷同 付和雷同 付和雷同

□傍若無人 傍若無人 傍若無人

□無我夢中 無我夢中 無我夢中

□優柔不断 優柔不断 優柔不断

□有名無実 有名無実 有名無実

□用意周到 用意周到 用意周到

6. 数字を使った四字熟語

□一期一会 一期一会 一期一会

□一言半句 一言半句 一言半句

□一攫千金 一攫千金 一攫千金

周囲の人のことを考えず、勝手気ままにふるまうこと。

行いが正しく、立派であること。

準備が細かいところまで行き届き、手ぬかりがないこと。

自分なりの考えや意見をもたず、深く考えることなしに人の意見にあっさりとしたがうこと。

あることで心がいっぱいになり、我を忘れること。

ぐずぐずして、はっきりした態度をとれないこと。

名前は立派だが、中身がともなわないこと。

一度に大きな利益を得ること。

一生にただ一度会うこと。一生に一度の機会であること。

わずかの言葉。

□ 一挙両得 一挙両得 一挙両得

いっしょくそくはっ

□ 一触即発 一触即発 一触即発

□ 一進一退 一進一退 一進一退

いっせいちだい

□ 一世一代 一世一代 一世一代

いっちはんかい

□ 一知半解 一知半解 一知半解

いっちよういっせき

□ 一朝一夕 一朝一夕 一朝一夕

□ 一長一短 一長一短 一長一短

□ 再三再四 再三再四 再三再四

しちてんぱつとう

□ 七転八倒 七転八倒 七転八倒

しめんそか

□ 四面楚歌 四面楚歌 四面楚歌

少し知っているが、十分には理解できていないこと。

( )

一つの動作で二つの利益を得ること。

( )

進んだりもどったりすること。良くなったり悪くなったりすること。

( )

些細なきっかけですぐに爆発しそうな危機にあること。

( )

わずかな期間。

( )

一生に一度のすばらしい行いをする事。

( )

強い痛みや苦しみを我慢できず、のたうち回ること。

( )

長所もあれば、短所もあること。

( )

何度もくり返すこと。たびたび。

( )

周りがすべて敵で、味方がいないこと。

( )



□ 千載一遇 せんざいいちぐう

千載一遇

千載一遇

□ 千差万別 せんさばんべつ

千差万別

千差万別

□ 千變万化 ちやうばんぽし

千變万化

千變万化

□ 朝三暮四 あさみつぼし

朝三暮四

朝三暮四

□ 八方美人 あつぱうびじん

八方美人

八方美人

□ 百発百中 ひゃくぱつひゃくちゆう

百発百中

百発百中

7. テキストのみ あんちゆうもさく

□ 暗中模索 いんしゅうさく

暗中模索

暗中模索

□ 意気消沈 いぎしょうちん

意気消沈

意気消沈

□ 一部始終 いちぶしじゆう

一部始終

一部始終

□ 一望千里 いちぼうせんり

一望千里

一望千里

手がかりのないまま、いろいろにやってみること。

目先のちがいにとらわれ、結果的に同じであることに気が付かないこと。また、たくみな言葉でごまかすこと。

多くのものがあつて、それぞれがみなちがつている様子。

物事がさまざまに変化すること。

千年にただ一度出会うような、めつたにない機会。

誰に対しても悪く思われないよう要領よくふるまう人。

うったたまや放った矢がすべて命中すること。予想や計画がいとも思いどおりになること。

意気ごみがなくなること。元気がなくなること。

物事のはじめから終わりまで。

広々として遠くまで見わたせる様子。

□ 意味深長 いみしんちよう

意味深長

意味深長

□ 因果応報 いんがおうほう

因果応報

因果応報

□ 栄枯盛衰 えいこせいすい

栄枯盛衰

栄枯盛衰

□ 黄金時代

黄金時代

黄金時代

□ 温故知新 おんこちしん

温故知新

温故知新

□ 完全無欠

完全無欠

完全無欠

□ 危急存亡 ききゆうそんぼう

危急存亡

危急存亡

□ 起死回生

起死回生

起死回生

□ 起承転結

起承転結

起承転結

□ 喜色満面 きしよくまんめん

喜色満面

喜色満面

危機がせまり、生き残るかほろびるかのせとぎわ。

言葉などに、裏に深い意味がかくされている様子。

国、社会、人生などで、最も栄えた時代。

以前の行動に応じて、相応のむくいがあること。

少しの欠点もなく完全である様子。

栄えたりおとろえたりすること。

昔のことを研究して新しい知識や考えを得られること。

漢詩の一つである絶句の組み立て方のこと。転じて、文章の組み立て方や物事の順序のこと。

だめになりそうな状態を救い、よい状態にすること。

喜びの表情が顔いっぱいにあられること。

□ 奇想天外 きそうてんがい 奇想天外 奇想天外

□ 急転直下 きよくせきこんこう 急転直下 急転直下

□ 玉石混淆(交) ぎよくせきこんこう 玉石混淆 玉石混淆

□ 金科玉条 きんかぎよくじょう 金科玉条 金科玉条

□ 空前絶後 空前絶後 空前絶後

□ 广大无边 广大无边 广大无边

□ 口頭試問 こうとうしもん 口頭試問 口頭試問

□ 古今東西 ここんとうざい 古今東西 古今東西

□ 後生大事 ごしょうだいじ 後生大事 後生大事

□ 小春日和 こはるびより 小春日和 小春日和

その人にとって最も大切な決まり。

口で述べて答える形式の試験。

ふつうでは思いもよらない、珍しく変わったこと。

前例がなく、今後と同じようなことは起きないほどのこと。

事情が急が変わって結末や解決に向かうこと。

すぐれたものとおつまらぬものが入りまじっていること。

仏教で死後に生まれ変わる世(後生)の安楽を願うという意味。転じて、物を非常に大事にすること。

広く大きく、果てがないこと。

昔から今までの、世界中のあらゆる場所。いつでも、どこでも。

秋の終わりから冬のはじめころの、おだやかで暖かい日。

□ 言語道断 ごんごどうだん

言語道断

言語道断

□ 三三五五

三三五五

三三五五

□ 三拝九拝 さんばいきゅうはい

三拝九拝

三拝九拝

□ 四分五裂 しぶんごれつ

四分五裂

四分五裂

□ 縦横無尽 じゅうおうむじん

縦横無尽

縦横無尽

□ 終始一貫 しゅうしいつかん

終始一貫

終始一貫

□ 自由自在

自由自在

自由自在

□ 主客転倒 しゅかくてんとう

主客転倒

主客転倒

□ 取捨選択 しゅしゃせんたく

取捨選択

取捨選択

□ 前人未到 ぜんじんみとう

前人未到

前人未到

ばらばらに分かれること。秩序なくして乱れること。

( )

思いのままにできる様子。自分の心のままにする様子。

( )

何度も頭を下げること。

( )

あきれて言葉では言い尽くせないほどひどいこと。

( )

三人、五人と、少人数でそれぞれ行動する様子。

( )

はじめから終わりまで、変わらないで通すこと。

( )

今まで誰も到達していないこと。

( )

思う存分、自由に物事を行うこと。

( )

必要なものを取り、不要なものを捨てること。

( )

物事の順序や立場が逆転すること。

( )

□ 前代未聞	ぜんだいみもん	前代未聞	前代未聞
□ 創意工夫	そういくふう	創意工夫	創意工夫
□ 大義名分	だいでうしょうい	大義名分	大義名分
□ 大同小異	ちやうれいぼかい	大同小異	大同小異
□ 朝令暮改	てんべんちい	朝令暮改	朝令暮改
□ 天変地異	どうこういきよく	天変地異	天変地異
□ 同工異曲	にそくさんもん	同工異曲	同工異曲
□ 二束三文		二束三文	二束三文
□ 日進月歩		日進月歩	日進月歩
□ 二六時中		二六時中	二六時中

日ごと月ごと、絶えず進歩を続けること。

朝出した命令が夕方には改められること。命令がめまぐるしく変わって定まらないこと。

これまで聞いたこともないくらい珍しいこと。

自分で新しいものや方法をいろいろと考えること。

作り手の手ぎわは同じで、作品のおもむきがちがうこと。また、ちがうように見えて内容は同じこと。

ことを行うにあたっての、正しく立派な理由。たてまえの理由。

細かい点がちがうだけで、だいたい同じであること。

台風、地震など、自然界に起こる異変。

数が多いが非常に安い値段であること。値段が安いこと。

一日中。

□ 半死半生 はんしはんしょう

半死半生

半死半生

□ 表裏一体 ひょうりいつたい

表裏一体

表裏一体

□ 不言実行 ふげんじつぎょう

不言実行

不言実行

□ 本末転倒 ほんまつてんとう

本末転倒

本末転倒

□ 油断大敵 ゆだんたいてき

油断大敵

油断大敵

□ 臨機応変 りんきおうへん

臨機応変

臨機応変

□ 七転八起 しちてんはっぴ

七転八起

七転八起

油断は、大きな失敗の原因になりがちだということ。

(

)

ほとんど死にかかっていること。

(

)

二つのものが切りはなせない状態にあること。

(

)

大事なこととささいなことを取り違えること。

(

)

何度失敗してもまた立ち上がること。

(

)

やるべきことをだまって実行すること。

(

)

その状況に応じて、適切に対応すること。

(

)